

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	はまり八きっず若菜台		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 1月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16 (回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 5月 11日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないように工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童指導員だけではなく、看護師、PT等全職員がチームとなって立案している。</li> <li>・事前に活動の目的から注意点などを全職員で共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動後に振り返りを行い次の活動に活かす。</li> <li>・多少実施の難しい活動でも、工夫することで実現できるように全員で案を出して検討する。</li> </ul>
2	地域と交流しやすい立地条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動や散歩、図書館に立ち寄り、お祭りなどの地域行事に積極的に参加し、地域の方々との交流の機会を作りお子さんと一緒に行うようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の児童や高齢者との交流を行うために、みんなで楽しめるイベントを企画していく。</li> </ul>
3	お子さんのケアなどについて、同じ企業グループ内の他部署や他事業所と積極的に交流を持ち、情報共有を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃より他部署や他事業所と良好な関係を築き、課題や目標を共有できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議や合同のカンファレンスに積極的に参加するようにしている</li> <li>・必要があれば、合同カンファレンスなどの開催を呼び掛けるようにしていく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	カンファレンスや会議などの実施に全職員が参加することができずに話し合いが持ちにくい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管に業務が集中している。</li> <li>・通学支援、送迎等の業務により、職員がそろって参加できる機会が少ない。</li> <li>・通学支援等の本来の業務以外の業務によって職員に負担がかかっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の集中を避けるために業務分担を行う。</li> <li>・情報共有に関しては、会議のオンライン活用。</li> <li>・非常勤職員の会議や勉強会などへの参加時は勤務対応とする。</li> <li>・直接対面して話せるような時間をつくるために、できるだけ放デイ業務以外の業務は他部署に依頼する。</li> </ul>
2	緊急時、非常時等の対策、訓練、保護者への周知が不十分。	緊急事態、災害等が起こるという想定に至らず、自分事として捉えられていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常時に必要となる物品の確保を充実させる</li> <li>・地域における災害発生予想(ハザードマップ等)を把握して周知していく</li> <li>・被災した事業所から対策等を学ぶ</li> </ul>
3	家族支援、保護者への支援が不十分。	利用中のお子さんのケアや活動に重点を置いて、家族支援が後回し、または他事業所がやってくれるものと考えているのではないかと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭支援として何をするのかから学ぶ</li> <li>・対人スキル、接遇面でのスキルアップが必要</li> <li>・内部、外部研修等の積極的活用</li> </ul>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 しまりハきっず若葉台

公表日 2026年 6月 1日

利用児童数

16

回収数

9

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	1	0	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	0	0	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	0	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	0	0	0	・専門的なりハビリの回数を増やしてほしい。	・PTやOTを採用して、専門的支援実施計画書を作成し、それに沿った支援を実施して参ります。 ・同じグループ内の訪問看護部からPTをお願いして評価に協力してもらい専門的なりハビリを行って参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	1	0	0	・専門的なりハビリの回数を増やして、子どもに合った形で実施してほしい。	・PTやOTの指示のもと、専門的支援実施計画書を作成し、それに沿ってよりお子さまに合った支援を提供して参ります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	1	0	0	・計画的に専門的なりハビリの実施を増やしてほしい。	・一年を通したサービス計画を作成し、それに沿った形でお子さま方への支援を提供して参ります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	0	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	0	3		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1	1	1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	9	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	2	0	0	・面談は必ずではない気がする。	・個別支援計画書やカンファレンスだけではなく、保護者の方々からの相談等の面談も積極的に行って参ります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	4	2	2			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	0	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	1	1	1	・訓練が実施されているかはわからない。	・各マニュアルを職員も含めて周知して頂けるように説明をさせていただきます。 ・訓練についても、ただ行うだけではなく、目的や手順、実施の様子なども含めて保護者の方々にもご理解とご協力を頂けるようお伝えさせていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	0	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	はまりハきつず若葉台				公表日	2026年 6月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	2	・マット上にお子さまと車いすで移動するお子さまの距離をとるために、お子さまがいる場所を整理し、事故などが起こらないように注意を払っています。	・お子さま一人一人のスペースを確保するためには部屋が狭い。他の部屋も利用することも可能だが、職員の手が足りず対応が難しいことも多いため、できるだけお子さまを2~3人のグループに分けて対応しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	3	・利用定員に対しては適切な人数であってもお子さまの状態や医療的ケアを考慮すると明らかに看護師が不足しているため、業務の順番を決めて対応しています。	・基準人員は確保しているが、実質的な職員の手が不足していることが多い。職員の募集を出すと同時に業務量の確認を行い、できるだけお子さまに支援できる時間を多く作り出していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	2			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	0	4			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	・事業所内に外部研修のお知らせが掲示しており、積極的な研修への参加が推奨されています。	・外部研修に参加できるように、勤務や業務をお互いにフォローするようにしていきます。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	1	3			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	1	3			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1	3			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1	3	・少ない時間の中で情報の共有などのための時間をつくるようにしています。	・通学支援事業も行っており、そちらにも職員の手が必要なため、放デイとしての支援計画の共有やその為の話し合いをする時間の確保が課題になっています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	3		・お子さまの行動特徴をどのようにとらえて解釈するのかについての技術や取り組み方を検討しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	2	・現状ではまだ不十分な点が多く、それぞれの支援のねらいも単発的になっている。 ・そのため、お子さま自身と周辺を含めた広い視野で確認し、今必要な支援が何であるのかを検討していくようにしています。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	・職員間で意見を出し合って共有している。 ・児童指導員だけでなく、看護系職種の職員の意見も取り入れて活動プログラムを作成しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・活動について、どんなことをする・したいかを出し合っています。	・そのための時間をとることは難しいが、業務の合間で短い時間をつくり話し合っていくようにしていくようにしていく必要があると感じます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	・送迎から戻る時間がバラバラであり、時間的な余裕がないため、振り返りの時間がもてないことも少なくない。そのため、お迎えの送迎に出る前の十数分を毎日の打ち合わせの時間としています。	・午前中の時間も通学支援等に時間をとられているため、放デイ職員として時間がどの程度必要なかを確認して業務の改善に繋げていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0	4		・支援終了後は勤務外になってしまうため、翌日から週末で活動の振り返りを行えるようにしていこうと思います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	1	3		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	0	4		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	1	3	・支援計画には組み込んでいますが、普段の活動の中ではあまり意識できていない面もあります。	・まずは楽しめることを基本として、そこからガイドラインに沿った支援を行うようにしていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	1	・連絡帳と送迎時に添乗職員がお子さまの状況を伝え、保護者の方々からも同様にお話を伺うことでお子さまの成長などについて確認するようにしています。	・保護者の方々との情報の共有はできて、課題についての話題にはなりにくいので、定期的な面談や必要に応じての面談を積極的に行うようにしていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4		・今後、ペアレントトレーニングなどの情報を集めて保護者の方々に情報提供できるようにしていきたいと思っています。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	2			

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	1	・面談だけではなく、普段の帰宅送迎時やお電話などで、お子さまについてご家庭での様子や保護者との関わりなどで伺ったことも支援計画に活かすようにしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	2	2		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1	・ご自宅への送迎時や後から電話やLINE等で、できるだけ早く詳しいお話を伺って適切なお答えができるようにしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	4		・今後、OBに来ていただき、今ご利用されている保護者の方々に経験を語って頂けるような会などを実施していきたいと思います。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・事業所通信を発行しています。 ・SNSを通して、空き情報や活動の様子を発信している。	・今後、月スケジュールや年間スケジュールを積極的に提示できるようにしていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・お子さまには、ご本人の表現方法を事前に確認しています。 ・保護者の方々へは、こちらからは分かりやすく具体的にお子さまのことなどをお伝えしています ・保護者がおっしゃっていることには、まず最後まで伺ってから返答し、わからないことでも後日お答えする等、必ずお伝えするようにしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		・当事業所が主体となって、地域住民参加を促すような行事などを探して立ち上げられるようにしていきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	0	4		・それぞれのマニュアルについてはあらかじめ整備して、職員には勉強会という形で、保護者の方々へはお知らせという形で周知できるようにしていきます。 ・避難や感染症対策等の訓練についても、職員はお子さま方を対象とした実践的な訓練を実施し、保護者の方々へはその報告として注意点やそれぞれの方法をお伝えし、ご理解とご協力を頂けるようにしていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	0	4		上記に同じ。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	・その日にご利用されるお子さまのカルテを出しておき、事前に確認したり、いざという時でもすぐに確認できるようにしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	・その日にご利用されるお子さまの名前をホワイトボード貼りだしてあり、名前の横に食物アレルギーの確認ができるように毎回表示しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	0	4		・2026年度は、事業所内で研修会と訓練を数回実施する予定です。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	0	4		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・報告書として作成する前に全員に意見を聞く場をつくるようにしています。	

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1	3		・2026年度は、事業所内で研修会を数回実施する予定です。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	1	3		・2027年度は、事業所内で研修会を数回実施する予定です。